

# 将来計画の議論



**NAOJ SKA1 STUDY GROUP**  
国立天文台SKA1検討グループ

**赤堀卓也**

グループサイエンティスト・マネージャー

- 世話人の依頼：広い視点で将来計画について
- 1日目の「水沢VLBI観測所と今後の運営について」という厳しい運営状況の話があった
  - 日本のVLBIコミュニティの未来はどうなってしまうのか
- 前へと進むにはサイエンスの議論が重要

# 科学の関心はどこにあるのか？

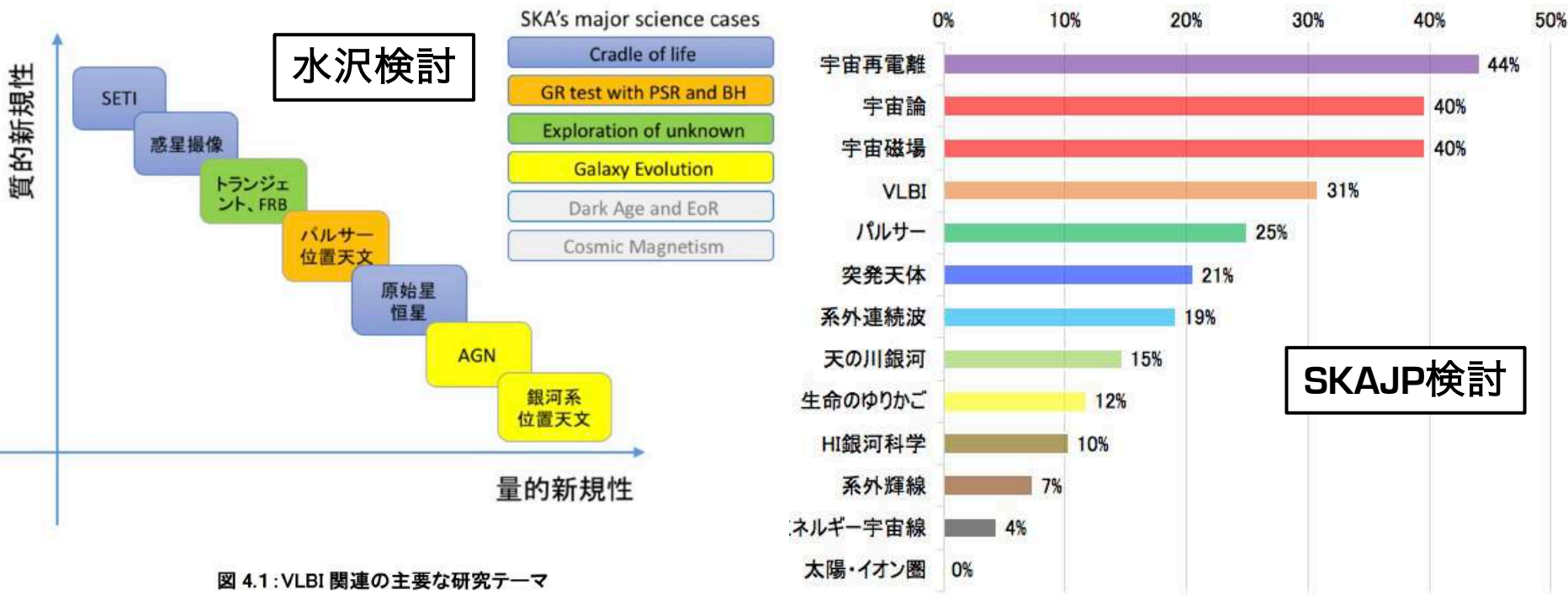


図 4.1: VLBI 関連の主要な研究テーマ

- S1. 円盤から星表面に至る降着流の性質と大質量原始星進化過程の解明
- S2. 巨大ブラックホール の進化過程および活動銀河核ジェット噴出機構の解明
- S3. コンパクト天体 の形成過程の研究
- S4. 多様な時間スケールに及ぶ突発天体現象の研究

## キーワード

1マイクロ秒角  
マルチメッセンジャー  
グローバルVLBI  
低周波VLBI  
発展途上国VLBI

## ■短期的な視点(目標)

- EAVNやJVNの科学的な到達目標は何か
- なぜEAVNやJVNなのか
  - ✓ EVNやVLBAに勝るものは何か
  - ✓ ALMA, Subaru, 理論研究などへの波及効果・協力(例:EHT)
- SKAやGVLBIの時代を見据えているか
- ALMAやTMTなどのビッグプロジェクトとの協働
- VLBIの将来サイエンス検討(PI:新沼さん)

## ■長期的な視点(目標)

- 天文学・物理学・地球科学・測地学の未解決問題は何か
- この時代の天文学者が未来に残すべき遺産は何か
- 日本の電波天文学の技術力を継承していくには